

NEWS RELEASE



【報道関係各位】

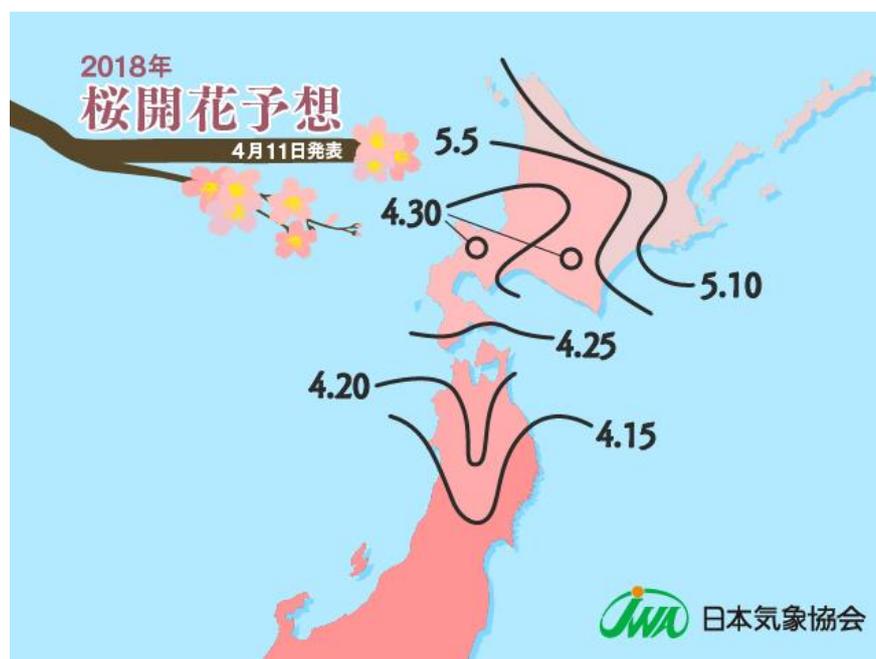
2018年4月11日
一般財団法人 日本気象協会

2018年桜開花予想(第8回) ～桜のシーズンは北日本へ 4月下旬に津軽海峡を渡る！～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川 裕己、以下「日本気象協会」）は、日本全国92地点の桜（標本木 [ソメイヨシノほか] 53地点、自治体・公園など36地点、および日本三大桜3地点）の開花予想日（第8回）を2018年4月11日（水）に発表します。

- ◆桜前線は、東北北部の沿岸まで到達！
- ◆今週は長野県の標高の高いところや東北南部で見ごろ！
- ◆桜前線は4月下旬に津軽海峡を越え、札幌や函館などで開花。

■2018年桜開花予想前線図



■開花と満開の傾向

桜前線は、東北北部の岩手県沿岸まで北上しています。3月から4月初旬にかけての気温が平年より高かった影響で、全国的に平年より1週間から2週間ほど早く開花したところが多くなっています。特に岩手県大船渡では平年より15日も早く、岐阜県高山では13日早く開花しました。しかし、先週後半から気温が平年並みか低くなったことで桜前線の北上は、東北北部でやや足踏み状態となっています。

今週末から来週前半にかけて寒気の影響で北日本の気温は平年より低いと予想されますが、4月初旬までの高温の影響を受けたことで、これから開花する東北北部では、平年並みか5日ほど早く、4月中旬に開花の便りが届くでしょう。その後は再び北日本の気温が平年より高くなると予想されるため、北海道では平年より5日前後早く開花する見込みで、函館や室蘭、札幌周辺から旭川では4月下旬、その他の北海道も5月上旬には開花するところが多いでしょう。桜前線は、道北の稚内や道東の釧路・根室には5月中旬に達する見込みです。

4月上旬に満開を迎えた北陸や長野県の一部、東北南部では、満開のピークを越えましたが、長野県の標高の高いところや山形県、東北北部の海沿いでは見ごろを迎えています。これから満開となる東北北部では平年並みか5日前後早く4月下旬には満開となるでしょう。北海道の広い範囲では5月上旬に満開となり、道北の稚内や道東の釧路・根室では5月中旬に満開となる見込みです。



■日本気象協会 長期予報（気温）

気温	来週前半まで	来週後半～5月上旬	～桜開花予想チームのコメント～
北日本	平年並みか低い	高い	北日本の気温は、来週前半にかけて平年並みか低いですが、来週後半から5月上旬は平年より高くなる見込みです。

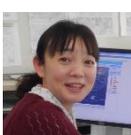
■2018年 桜の予想開花日・満開日（主な地点）

	地点	予想開花日	平年開花日	昨年開花日 (2017年)	予想満開日	平年満開日	昨年満開日 (2017年)
福岡県	福岡市	(3月19日)	3月23日	3月25日	(3月27日)	4月1日	4月5日
香川県	高松市	(3月24日)	3月28日	4月2日	(3月29日)	4月5日	4月8日
広島県	広島市	(3月22日)	3月27日	3月27日	(3月28日)	4月4日	4月7日
大阪府	大阪市	(3月20日)	3月28日	3月30日	(3月26日)	4月5日	4月6日
愛知県	名古屋市	(3月19日)	3月26日	3月28日	(3月27日)	4月3日	4月6日
東京都	千代田区	(3月17日)	3月26日	3月21日	(3月24日)	4月3日	4月2日
長野県	長野市	(4月2日)	4月13日	4月14日	(4月6日)	4月17日	4月17日
富山県	富山市	(3月27日)	4月5日	4月5日	(3月30日)	4月10日	4月8日
新潟県	新潟市	(4月3日)	4月9日	4月8日	(4月5日)	4月14日	4月13日
宮城県	仙台市	(3月30日)	4月11日	4月7日	(4月4日)	4月16日	4月13日
北海道	札幌市	4月28日	5月3日	4月28日	5月2日	5月7日	5月3日

※予想開花日、予想満開日の（ ）はすでに開花や満開になった地点です。

全92地点の桜（標本木 [ソメイヨシノほか] 53地点、自治体・公園など36地点、日本三大桜3地点）の予想開花日・予想満開日は、日本気象協会が運営する天気予報専門メディア『tenki.jp（てんきじゃーびー）』桜の開花予想ページ（<https://tenki.jp/sakura/expectation/>）にて公開しています。

■各地の気象予報士コメント

	<p>日本気象協会 中部支社（菅野 彰太）</p> <p>今年の東海地方の桜は、平年よりかなり早く咲き進み、名古屋と岐阜では観測史上で最も早い満開日になりました。飛騨高山周辺は満開を迎えたばかりなので、高山祭でも桜が楽しめそうです。ただ、当日は天気が崩れそうなので、最新の情報を要チェックです。</p>
	<p>日本気象協会 長野支店（濱中 弘樹）</p> <p>先週の暖かさに誘われて、県内の桜も記録的に早い開花となっています。先週末の春の嵐が花を散らすかと心配されましたが、雨風に耐えた桜も多かった様子です。桜の見ごろは、長野県北部や山沿いへと移っていますが、桜吹雪や桜のじゅうたんも楽しみたいものです。</p>
	<p>日本気象協会 新潟支店（今井 梢）</p> <p>平年よりも1週間前後早めに開花、満開になった桜ですが、天候が不安定でお花見は天気予報とにらめっこになりそう。桜前線はこれから、まだ雪残る山間部へと新潟県内を登ってこれから開花、満開を楽しめそうです。</p>
	<p>日本気象協会 東北支社（佐藤 理恵子）</p> <p>東北地方では、先週後半から寒の戻りとなり、北部を中心に最高気温は10度を下回る日が多くなりました。向こう一週間は、寒の戻りの影響で北部の花芽の生長はペースダウン、春の大型連休前半は見ごろとなる所もありそうです。</p>
	<p>日本気象協会 北海道支社（持田 浩）</p> <p>北海道の今後1カ月の気温は、中旬いっぱい平年並みか低く経過します。しかし下旬からは平年より高くなりますので、暖かさに誘われて道南方面では一気に開花となるでしょう。全道的に開花は平年より5日ほど早く、大型連休中には満開の桜を楽しめる所が多くなる見込みです。</p>



日本気象協会では日本全国 89 地点の桜（ソメイヨシノほか）の開花予想以外にも、「日本三大桜」と呼ばれている福島県の「三春滝桜」（みはるたきざくら：ベニシダレザクラ）、山梨県の「山高神代桜」（やまたかじんだいさくら：エドヒガンザクラ）、岐阜県の「根尾谷淡墨桜」（ねおだにうすずみざくら：エドヒガンザクラ）の開花予想を「tenki.jp」にて公開しています。

【言葉の説明】

平年：1981～2010 年の平均値

開花日：標本木で 5～6 輪以上の花が咲いた状態となった最初の日（気象庁の観測基準と同じ）

満開日：標本木で 80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日（気象庁の観測基準と同じ）

休眠打破：前年の夏に形成され休眠に入った花芽が、冬になり一定期間の低温にさらされて目覚めること

以上